

# 外国語学び直し国際交流

海外留学で外国語の学び直しや国際交流をするシニア層が増えている。最近、孫と留学する人も。体験の共有による思い出作りに加え、孫に国際社会に目を向けるきっかけを与えたいとの願いもあるようだ。

(砂本紅年)



孫と留学した若月さん(左奥)の体験談に耳を傾ける女性たち=東京都大田区で

## 孫連れ シニア留学が人気

「孫が空港などのタッチパネル操作を率先してやってくれた」

八月に小学五年の孫娘(〇〇)とカナダに十七日間留学した若月正勝さん(六六)は新潟県柏崎市。留学をあっせんした「留学図書館」(東京)で体験談を披露。若月さんと同様、孫と

「一緒に行く!」。孫の両親も「海外体験は勉強になる」と賛成した。

カナダでは、若月さんは語学学校で英語のグループレッスンを受講。約三十年ぶりの英会話も徐々に勘を取り戻した。期間中は学校が手配したコンドミニアムに滞在。皿洗いや掃除など

## 体験共有し、互いに成長

の留学を予定する女性一人は興味深そうに耳を傾けた。

若い頃から海外に関心があったという若月さん。小売業の仕事が忙しかった現役時代は英語と縁遠い生活だったが、退職し時間に余裕ができると、「昔の夢」が頭をもたげた。仲の良い孫娘に「興味があれば連れて行く(うか)」と誘うと、

の家事は孫と分担した。ホームステイと比べ、料金は割以上高かったという。

孫は近くの大学のサマーキャンプに通い、さまざまなおスポーツを楽しむプログラムに参加。子どもの興味に応じ、科学や音楽、芸術などいろいろなプログラムが用意されていたという。若月さんは留学で学習意欲に火が付き、帰国後は一

日約四時間、英語を勉強している。「来年も孫とカナダに行きたい」

体験談を聞いた東京都大田区の女性(七〇)は「七歳の孫が海外に目を向けるきっかけをつくってあげたい」と意気込む。同じく町田市の女性(六七)は孫が十歳になる二年後に留学を検討中。「孫は現地の小学校に体験入学させたい」

留学図書館はシニアなど、個人に合わせた「オーダーメイド留学」に力を入れており、代表の渡辺知美

行き先はカナダ、ニューヨーク、ロンドンなど英語圏の先進国が多い。夏休みや冬休みなどに合わせた短期留学が中心で、受け入れ国側もシニアと孫、それぞれの関心に合わせた体験プログラムを多数用意している。デメリットは、時期が夏休みなどと重なるので旅費が高つくこと。留学図書館の場合、一週間の費用は二人で計八十万〜百万円が目安という。

また、「孫の世話ですると疲れてしまう」と体力面の不安も。渡辺さんは「助け合うのが基本」とし、留学前に「予行演習」として孫と宿泊する国内旅行を勧めている。「お互い目的を持って成長できるのが、孫連れ留学の良さです」

さん(四〇)によると、孫を連れてきたシニア留学は三〜四年前から目立ち始めた。多くは「孫に良い影響を与えたい」「孫との思い出作り」などと祖父母が発案。孫の親は「自分は忙しくて連れて行けないが、初めての海外は大人がいた方が安心」「祖父母が費用を出すなら」などと賛成し、話が進むという。

留学支援会社「留学ジャーナル」(東京)が、同社を通じて昨年留学した人を調べると、五十代以上は全体の11%を占めた。年々増え続け、二〇一八年は一五年と比べて約二・三倍に増えている。